

## 豊かな魅力ある地域づくりに活かそう新技術

令和元年10月9日  
国土交通省中部地方整備局  
中部技術事務所**オーストリア共和国、ペルー共和国の青年が  
日本の災害対策用機械を見学・操作体験！**  
～災害現場で活躍する機械に触れてもらい、意見交換を実施～

## 1 概要

内閣府が主催する「2019年度国際社会青年育成事業（※1）」で、招へいしたオーストリア共和国、ペルー共和国の代表青年（計16名）が、愛知県を来訪され、滞在期間中に、プログラムの一環として、中部技術事務所が保有する排水ポンプ車、無人化施工バックホウなど、災害現場で活躍する災害対策用機械を見学、操作体験をされます。

中部技術事務所では、災害時等に活躍する様々な機械を保有しており、これまでも多くの災害に機械を派遣しています。今年度も、令和元年8月の前線に伴う大雨により浸水被害のあった佐賀県杵島郡大町町へ排水ポンプ車、照明車を派遣しています。

今回の災害対策用機械の見学や操作体験を通じ、日本の災害対策用機械を知ってもらうと共に、災害対策についての意見交換も行う予定です。

※1「国際社会青年育成事業」は、平成6年に皇太子殿下の御成婚を記念して開始した「国際青年育成交流事業」を2019年のお代替わりを契機に発展させた事業であり、欧州・アフリカ、北米・中南米、アジア・大洋州の各地域に日本青年を派遣して、国際的視野を持つ青年を育成することを目的としています。2019年度事業では、9月～10月に日本青年を上記の3地域にそれぞれ派遣するとともに、10月に6か国の青年を日本に招へいします。

## 2 内容等

日時：令和元年10月15日（火）10時00分～11時30分  
※開始・終了時間につきましては、多少前後する場合がございます。

場所：中部技術事務所構内（名古屋市東区大幸南1-1-15）

内容：中部技術事務所が保有している災害対策用機械の見学・操作体験

<見学・体験予定機械>

排水ポンプ車、対策本部車、待機支援車

照明車（体験有）、無人化施工バックホウ（体験有）、ドローン（体験有）

報道取材：見学・操作体験の全般において取材が可能です。

## 3 資料：添付資料

## 4 配布先：中部地方整備局 記者クラブ

## 5 問合せ先：国土交通省 中部地方整備局 中部技術事務所

副所長 石川 裕一 TEL:052-723-5701 (代表)

防災・技術課長 大坪 晋作 FAX:052-723-5707

6 その他：災害が発生もしくは防災体制時には中止します。  
中止の場合は、ご連絡しますので、取材を希望される方は事前に問合せ先までご連絡をお願いします。

## 中部技術事務所保有の災害対策用機械(見学・体験)

見学



排水ポンプ車

台風や豪雨による河川の氾濫により浸水被害が発生した現場で、排水作業を行う車両

見学・体験



照明車

災害復旧作業を迅速に行うため、夜間照明として災害現場を広範囲に明るく照らす車両

見学・体験



無人化施工バックホウ

立ち入り禁止となっている災害復旧現場での作業を行うため、遠隔操作による作業を可能にした土砂掘削機械

見学



対策本部車

災害現場における、現場指揮など現地対策本部機能を有する車両

見学



待機支援車

長期化する災害復旧現場における現地派遣者の仮眠場所となる車両

見学・体験



ドローン

被災状況の現地調査時に上空より広域的に撮影する小型無人航空機

## 中部技術事務所が派遣した主な災害【H30年度～令和元年度】

平成30年7月豪雨【平成30年度】  
岡山県真備町での  
排水ポンプ車による排水作業



排水ポンプ車

令和元年8月の前線に伴う大雨【令和元年度】  
佐賀県大町町での排水ポンプ車による排水作業



排水ポンプ車(夜間)

排水ポンプ車

北海道胆振東部地震【平成30年度】  
厚真町での土砂崩落現場での復旧作業



無人化施工バックホウ



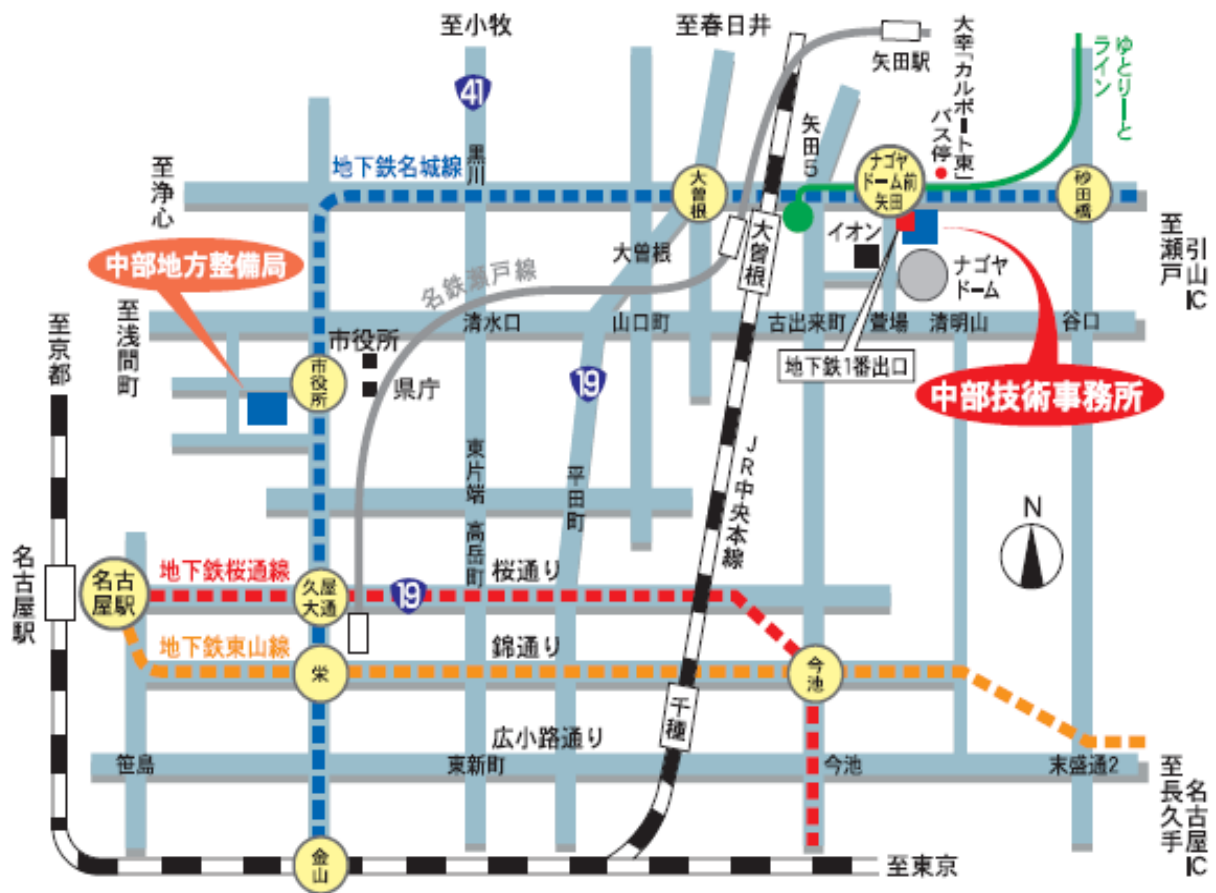
派遣車両到着時



排水作業完了時



# 中部技術事務所案内図



地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田駅」  
下車1番出口より徒歩1分

ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田駅」  
下車徒歩1分

